

# 調査結果概要

## 第1章 農林業経営体

### 農林業経営体数は4,606経営体

平成17年2月1日現在の農林業経営体数は4,606経営体となっている。このうち、農業経営体数は4,559経営体、林業経営体数は53経営体であった。

## 第2章 農業経営体

### 1 組織形態別経営体数

農業経営体を組織形態別にみると、法人化している経営体が32経営体（全体に占める割合0.7%）。法人化していない経営体が4,527経営体（同99.3%）であった。

表1 組織形態別経営体数（農業経営体）

単位：経営体

区 分	計	法 人					地方公共 団体・ 財産区	非 法 人
		小 計	農事組 合 法 人	会 社	各種団体	その 他の 法人		
平成17年	4,559	32	4	21	7	-	-	4,527
構成比(%)	100.0	0.7	0.1	0.5	0.2	-	-	99.3

### 2 経営耕地面積規模別経営体数（家族経営）

農業経営体（家族経営）を経営耕地面積規模別にみると、1.0～2.0ha層が1,728経営体（全体に占める割合38.1%）で最も多く、次いで0.3～1.0ha層は1,718経営体（同37.8%）で、2.0ha以下の層で全体の78.2%を占めている。

表2 経営耕地面積規模別経営体数（農業経営体のうち家族経営）

単位：経営体

区 分	計	0.3ha 未 満	0.3～ 1.0	1.0～ 2.0	2.0～ 3.0	3.0～ 5.0	5.0～ 10.0	10.0～ 20.0	20ha 以 上
平成17年	4,540	104	1,718	1,728	650	276	51	12	1
構成比(%)	100.0	2.3	37.8	38.1	14.3	6.1	1.1	0.3	0.02

### 3 農産物販売金額規模別経営体数（家族経営）

農業経営体（家族経営）を農産物販売金額規模別にみると、最も多いのは、100～500万円層の1,173経営体（全体に占める割合25.8%）、次いで50万円未満層の820経営体（同18.1%）となり、1000万円以下で全体の82%を占めている。

表3 農産物販売金額規模別経営体数（農業経営体のうち家族経営）

単位：経営体

区 分	計	販売 なし	50万円 未 満	50～ 100万円	100～ 500	500～ 1000	1000～ 3000	3000～ 5000	5000～ 1億	1億 以 上
平成17年	4,540	254	820	685	1,173	790	742	54	20	2
構成比(%)	100.0	5.6	18.1	15.1	25.8	17.4	16.3	1.2	0.4	0.04

### 4 農業経営組織別経営体数（家族経営）

#### 農業経営体の8割が単一経営

農業経営体（家族経営）を農業経営組織別にみると、単一経営体が全体に占める割合は79.3%で、準単一複合経営は17.2%、複合経営は3.5%であった。

表4 農業経営組織別経営体数（農業経営体のうち家族経営） 単位：経営体

区分	販売のあった 経営体数	単一経営 経営体数	準単一複合 経営体数	複合経営 経営体数
平成17年	4,286	3,399	735	152
構成比(%)	100	79.3	17.1	3.5

〈農業経営組織別〉

単一経営：農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が8割以上の農家をいう。

準単一複合経営：農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が6割以上8割未満の農家をいう。

複合経営：農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が6割未満の農家をいう。

## 5 耕地種類別経営耕地面積（家族経営）

農業経営体（家族経営）の経営耕地面積は655,460aであった。

これらを耕地種類別にみると、田が414,989a、畑が81,546a、樹園地が158,925aであった。

表5 耕地種類別経営耕地面積（農業経営体のうち家族経営） 単位：a

区分	計	田	畑	樹園地
平成17年	655,460	414,989	81,546	158,925
構成比(%)	100.0	63.3	12.4	24.2

## 第3章 林業経営体

### 保有山林面積規模別経営体数

林業経営体を保有山林面積規模別の構成割合で見ると、5ha未満層は10経営体（全体に占める割合18.9%）、5～10ha層は16経営体（同30.2%）、10～50ha層は16経営体（同30.2%）、50ha以上層は11経営体（同20.8%）となった。

区分	計	5ha未満	5～10	10～50	50ha以上
平成17年	53	10	16	16	11
構成比(%)	100.0	18.9	30.2	30.2	20.8

## 第4章 農家数

### 1 総農家数

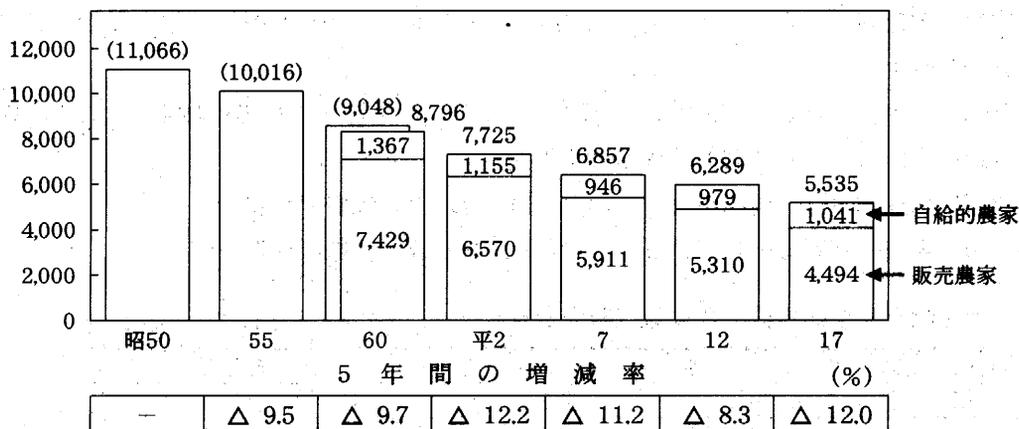
平成17年2月1日現在の本市の総農家数は、5,535戸で、平成12年2月1日実施された前回世界農林業センサス（以下「前回農セン」という。）における6,289戸と比べると754戸（12.0%減）減少した。

減少率は、平成2年以来の高い数字となった。又農家数で見ると昭和50年の半数に落ち込んでいる。

このうち、販売農家は4,494戸（総農家数に占める割合81.2%）で816戸（15.4%減）減少し、自給的農家数は1,041戸（総農家数に占める割合18.8%）で62戸（6.3%増）増加した。

このように、販売農家が高齢化し、後継者不足等により自給農家に移る傾向がある。

図1 総農家数の推移



注1 昭和50年～60年の農家数及び増減率は旧定義によるものです。  
 2 昭和60年の農家数(8,796戸)は新定義により組替えしたものです。

2 経営耕地規模別農家数(販売農家)

販売農家を経営耕地規模別に前回農センと比べると、0.3ha～1.0haの経営規模では20%以上の減少率と高くなっている。

また、3.0ha以上では増加傾向にある、特に3.0～5.0haの規模では21.6%以上の増加率と著しい。

第1表 経営耕地規模別農家数(販売農家)

単位 実数：戸・比率%

経営耕地規模別	実数		増減率	構成比	
	平. 17	平. 12		平. 17	平. 12
計	4,494	5,310	△ 15.4	100.0	100.0
0.3ha未満	58	60	△ 3.3	1.3	2.2
0.3～0.5	519	691	△ 24.9	11.5	11.5
0.5～1.0	1,199	1,553	△ 22.8	26.7	26.7
1.0～1.5	980	1,171	△ 16.3	21.8	21.8
1.5～2.0	748	856	△ 12.6	16.6	16.6
2.0～3.0	650	693	△ 6.2	14.5	14.5
3.0～5.0	276	227	21.6	6.1	6.1
5.0ha以上	64	59	8.5	1.4	1.4

3 専兼業別農家数(販売農家)

販売農家について専兼業別農家数をみると、専業農家が1,837戸で40.9%を占め、第1種兼業農家が899戸で20.0%、第2種兼業農家が1,758で39.1%の構成となっている。

専兼業別農家数の増減をみると、前回農センに比べて専業農家が71戸(4.0%増)、第1種兼業農家が475戸(34.6%減)、第2種兼業農家が412戸(19.0%減)となっており、専業農家では若干増加しているものの、兼業農家の減少が著しい。

第2表 専兼業別農家数(販売農家)

単位 実数：戸・増減率、構成比：%

区分	計	専業農家	男子生産年齢人口のいる世帯	兼業農家			
				小計	第1種兼業農家	第2種兼業農家	
実数	平17	4,494	1,837	1,240	2,657	899	1,758
	平12	5,310	1,766	1,272	3,544	1,374	2,170
増減率	△ 15.4	4.0	△ 2.5	△ 25.0	△ 34.6	△ 19.0	
構成比	平17	100.0	40.9	27.6	59.1	20.0	39.1
	平12	100.0	33.3	24.0	66.7	25.9	40.8

#### 4 農産物販売金額規模別農家数（販売農家）

販売農家数を前回農センと比べてみると2,000万以上で47戸（29.7%増）増加している外はすべての階層において減少している。

特に、50万～100万、100万～200万、200万～500万、の階層がそれぞれ194戸（22.1%減）、182戸（26.5%減）、224戸（25.1%減）と減少が著しい。

また、農家数構成割合は、前回農センと比べて500万以上の階層で増加。

50万～500万未満の階層でそれぞれ1.4～2.0ポイントの減少が見られる。

第3表 農産物販売金額規模別農家数（販売農家）

単位 実数：戸 構成：%

農産物販売金額 規模別	農家数		構成比	
	平17	平12	平17	平12
計	4,494	5,310	100.0	100.0
50万円未満	1,028	1,128	22.9	21.2
50～100	685	879	15.2	16.6
100～200	506	688	11.3	13.0
200～500	667	891	14.8	16.8
500～1,000	790	905	17.6	17.0
1,000～2,000	613	661	13.6	12.4
2,000万円以上	205	158	4.6	3.0

### 第5章 農家人口・就業構造

#### 1 農家人口の年齢別構成（販売農家）

農家数の減少とほぼ比例して総農家人口が前回農センから4,673人（18.7%減）減少した。

年齢階層別実数は、前回農センに比べてすべての年齢階層において減少した。

特に、15歳未満で1,076人（30.7%減）、30～49才で1,532人（26%減）と減少率が高くなっている。

また、構成割合も65才以上が前回農センより約3.6ポイント増加し、増加傾向が続いている。

第4表 農家人口の年齢別構成（販売農家）

単位 実数：人・構成比、増減率：%

区分	総数	15歳未満	15～29	30～49	50～64	65歳以上	
実数	平17	20,292	2,406	3,194	4,359	4,260	6,073
	平12	24,965	3,473	3,962	5,891	5,081	6,558
増減率	△ 18.7	△ 30.7	△ 19.4	△ 26.0	△ 16.2	△ 7.4	
構成比	平17	100.0	11.9	15.7	21.5	21.0	29.9
	平12	100.0	13.9	15.9	23.6	20.4	26.3

#### 2 農業就業人口（販売農家）

農業就業人口は、前回農センに比べて総数で1,598人（13.5%減）減少、64才以下では1,593人（21.4%減）減少、65才以上では、ほとんど変化がなかった。

また、構成比においても、前回農センに比べて65歳以上で5.8ポイント増加している。

第5表 農業就業人口（販売農家）

単位 実数・増減率、構成比：%

区分	総数	49歳以下	50～64	65歳以上	
実数	平17	10,260	2,818	3,035	4,407
	平12	11,858	3,657	3,789	4,412
増減率	△ 13.5	△ 22.9	△ 19.9	△ 0.1	
構成比	平17	100.0	27.5	29.6	43.0
	平12	100.0	30.8	32.0	37.2

## 第6章 土 地

### 1 地目別経営耕地（販売農家）

農家数及び経営耕地のすべての項目において前回農センに比べて減少しており、特に畑においては、農家数の減少が著しく33.8%の減少率となった。

第6表 経営耕地の状況（販売農家）

単位 農家数：戸 ・面積：a ・増減率：%

区 分		経営耕地	田	畑	樹園地	
実 数	農 家 数	平17	—	3,603	1,403	1,100
		平12	—	4,259	2,119	1,296
	経営耕地	平17	654,644	414,979	81,545	158,120
		平12	714,941	451,863	93,864	169,214
増 減 率	農 家 数	—	△ 15.4	△ 33.8	△ 15.1	
	経営耕地	△ 8.4	△ 8.2	△ 13.1	△ 6.6	

### 2 借入・貸付・耕作放棄地

前回農センより借入・貸付・耕作放棄地とも農家数で6～7%の減少。

面積で借入耕地、耕作放棄地それぞれ、13.5%、3.4%の増。

貸付耕地は9.9%の減となった。

第7表 借入・貸付・耕作放棄地（販売農家）

単位農家数：戸 面積：a ・増減率：%

区 分	農家数	借入耕地		貸付耕地		耕作放棄地		
		農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積	
実 数	平17	4,494	1,703	109,859	695	25,154	598	14,968
	平12	5,310	1,825	96,759	750	27,909	640	14,479
増 減 率	△ 15.4	△ 6.7	13.5	△ 7.3	△ 9.9	△ 6.6	3.4	

## 第7章 農業生産

### 1 作物の類別収穫農家数と面積（販売農家）

前回農センと作物の収穫を類別に比べると、収穫農家は麦類、雑穀、野菜、花き類、花木、種苗、苗木類で増加。

その他は減少特に稲、豆類の減少が高い。

また、収穫面積は前回農センと比べて麦類、雑穀、野菜類、種苗、苗木類の増加が高い。

特に、いも類の減少が著しい。

第8表 作物の類別収穫農家数と面積（販売農家）

単位農家数：戸 ・面積：a ・増減率：%

区 分	収穫農家数		収 穫 面 積		増 減 率	
	平17	平12	平17	平12	収穫農家数	収穫面積
計	3,554	4,187	453,785	383,502	△ 15.1	18.3
稲	3,152	3,816	276,088	299,876	△ 17.4	△ 7.9
麦 類	119	60	13,948	4,869	98.3	186.5
雑 穀	32	9	1,448	685	255.6	111.4
い も 類	232	252	2,843	6,313	△ 7.9	△ 55.0
豆 類	315	405	14,175	12,780	△ 22.2	10.9
工芸農作物	15	16	1,088	1,428	△ 6.3	△ 23.8
野 菜 類	1,855	1,089	127,843	40,047	70.3	219.2
花き類・花木	207	136	5,722	6,364	52.2	△ 10.1
種苗・苗木類	99	25	4,315	1,321	296.0	226.6
その他の作物	130	156	6,315	9,819	△ 16.6	△ 35.7

## 2 家畜（販売農家）

前回農センより、飼養農家数は減少傾向にあり、特に肉用牛の飼養農家数の減少が23.1%と急増、また頭数においては、乳用牛、豚でそれぞれ3.2%、26.9%と増加したものの、肉用牛は38.6%と高い減少率となった。

第9表 家畜飼養農家（販売農家）

単位 農家数：戸・頭羽数：頭、羽・増減率：%

区 分	乳 用 牛		肉 用 牛		豚		採 卵 鶏		
	農家数	頭 数	農家数	頭 数	農家数	頭 数	農家数	羽数(100羽)	
実 数	平17	68	3,919	40	856	9	3,807	12	629
	平12	74	3,798	52	1,395	11	3,000	12	803
増 減 率	△ 8.1	3.2	△ 23.1	△ 38.6	△ 18.2	26.9	-	△ 21.7	

## 第8章 農業用機械（販売農家）

個人所有の農業用機械の農家100戸当たりの台数は前回農センと比べて、あまり変動はなかった。

第10表 個人所有農業用機械（販売農家）

単位 農家数：戸・所有台数：台

区 分	動力耕運機 農用トラクター	動力防除機	動力田植機	自脱型コンバイン	
所 有 台 数	平17	3,943	4,403	2,828	2,317
	平12	-	4,700	3,280	2,831
農 家 数	平17	3,428	3,400	2,796	2,290
	平12	-	3,518	3,270	2,811
100戸当たり 所有台数	平17	115	129.5	101.1	101.2
	平12	-	133.6	100.3	100.7